



品川シルバー大学同窓会

2022年1月26日

第95号

会報

品川シルバー大学同窓会 事務局
TEL 070-8412-0523
ssu.dosokai.jm@gmail.com

見学会・講演会のメールでの申込みは ssu.dosokai@gmail.com (問合せ080-6634-6797)

年頭のご挨拶

品川シルバー大学同窓会 会長 保坂 駒雄

あけましておめでとう
ございます。

昨年も新型コロナウイルスの猛威が収まらず、緊急事態宣言の発出等で同窓会活動はもちろん私たちの生活にも多大の制約を受けました。他方東京オリンピックが無観客ながら開催され、史上最多の58個のメダルを獲得し、また大谷翔平選手が米大リーグで大活躍をするなど私達に元気を与えてくれるニュースもありました。2021年度の同窓会活動は4月の定期総会は書面総会に、5月の見学会は中止となりましたが6月以降は講演会・見学会・会報等ほぼ計画通り実施しております。今後とも感染状況等を勘案し、コロナ対策の基本対応を怠りなく実施し会員の皆様のご期待に沿うべく各種事業に取り組んでいく所存であります。また、同窓会活動の活性化のためにも会員の皆様の積極的な声（ご要望等）を是非お願いいたします。

最後に会員の皆様にとってこの新しい年がより佳き年となるよう祈念すると共に同窓会の発展の為一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。（1月5日記）

追記：年明け以降のオミクロン株の急拡大を踏まえ1月24日の見学会（明治神宮）は急遽中止といたしました。2月の講演会は実施の方向ですが、感染状況により中止もあり得ます。3月のバス旅行はバスが密閉空間でもあり3密回避等ため中止といたします。ご理解



ご協力をお願い致します。（1月18日記）

令和3年度 第3回見学会

場所：深川まちあるき 佐賀町永代橋コース
日時：2021年11月25日（木）参加49名
： 同 11月26日（金）参加50名

「久しぶりの見学会 深川まちあるき」

久しぶりの見学会で、ワクワクしながら久しぶりに電車に乗りました。今回は、「深川まちあるきガイドサービス・深川佐賀町・永代橋コース」と、その名の通りガイドサービス付きの有意義な時間を過ごすことができました。江東区のボランティアガイドの方の案内で、深川一帯の見学を約2時間かけて回りました。ちなみにボランティアガイドは約100名も登録しているようです。



伊能忠敬居跡

印象に残った事は、いろいろありますが、まず、伊能忠敬住居跡見学时に、伊能忠敬が佐原で商人として成功していたのに家督を長男に譲り、50歳の時に江戸へ出て、天文学、数学、測量を学び、日本中を歩いて、日本地図を作ったと説明がありました。昔の50歳といえば、現在の我々の年代だと思います。私もまだまだこれからだと、希望が湧いてきました。

次に、澁澤榮一宅跡は、現在は倉庫となっており、その面積の大きさには驚きました。実業家としての澁澤は、明治8年に「第一国立銀行」を設立したが、明治15年に現在の日本銀行が設立されたのを機会に第一国立銀行の国立の文字を削除したと説明されました。澁澤の先見性を垣間見る思いでした。

最後に、永代橋見学では、ドイツのライン川に架かる鉄道橋をモデルにデザインされた橋であり、現在は国の重要文化財に指定されているということです。たまには、隅田川沿いを散策するのも気持ちのいいものだと思います。ありがとうございました。

(小久江正 2017入会)



澁澤榮一筆扁額

ひとこと感想

- ・江東区の歴史の多さにびっくり充実した街歩きでした。都会と下町の共存が興味深かったです。
- ・よい天気にもぐまれ、スバラシイウオーキングでした。ガイドさんもすばらしい案内で感謝です。本当に有意義な一日でした。
- ・イヤホン付きのガイドさんで説明も実に広範囲多岐にわたり楽しい3Hでした。ありがとうございました。



御船橋1929年竣工

- ・歴史のあるなかに現代の風景・・・混在でとても楽しい一日でした。説明していた方の心とむ話にもいやされました。
- ・お天気にも恵まれガイドさんの説明もたくさん教えて頂き充実した一日でした。ありがとうございました。
- ・深川の歴史的な人物のお話したりたちがとてもたのしく聞けました。ありがとうございました。
- ・江東区ボランティアの白浜さんの説明は分かりやすく、良く勉強されており感心しました。ありがとうございました。
- ・第4班岩淵ガイドさんの名説明で楽しく江東区を学びましたありがとうございました。
- ・ガイドさんのていねいな説明で楽しめました。久々の見学会参加で歩いたところも川のほとりで大変すばらしいとおもいました。
- ・澁澤榮一の偉業の説明大変よかったです。色々な著書で記されていない部分詳細に説明があった。川についての文化、永代橋をはじめどのように発展していったか川の大切さを川に沿って詳しく学べた。
- ・コロナ禍の中で久しぶりのシルバー大学深川散歩秋晴れの中、ガイドさんも歴史とエピソードを丁寧に楽しくひとときを過ごせました。
- ・お天気もよくおだやかな日の見学会、説明もよくわかり、イヤホン付のガイド良かったです。少人数での移動、いつもなら別れてしまう事なく最後までご一緒でき良かったですあ！
- ・少人数でのマイクをつけての説明は大変ありがたかったです。久しぶりの外出楽しませていただきました。なかなか来る機会のない場所でしたので発見アリでした。



相生橋から見るビル群

- ・知らない場所が沢山ありいろいろ説明してもらい楽しかった。昔は富士さん・筑波山も見られたそうで風景がどんどん変化していくなあと思った。休憩で10分くらい座ればよかった。
- ・初めて来ましたが渋沢栄一や幕末の歴史にちなんだ場所が沢山ありいろいろ知るが出来て楽しかったです。
- ・渋沢栄一、長谷川平蔵など興味のあるところ。案内大変良かったです。これからも大河、鬼平犯科帳見ます。

第3回講演会報告 戦国三英傑総集編

講師：大江戸歴史散策研究会
代表 瓜生和徳 先生

- 場 所：
きゅりあん7階
イベントホールA B
- 日 時：
2021年9月7日(火)
14:00～16:00
- 参加者：70名



戦国時代を象徴する武将、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康は、『戦国の三英傑』と呼ばれ親しまれています。この『戦国の三英傑』の魅力は何処にあるのか、はたして今まで考えられていたイメージは本当なのか、この戦国の三英傑の虚像と実像に迫っていきます。信長と言えば、うつけ者・神仏を恐れぬ冷徹な人・未来人など、他の武将とは一線を画した強烈なイメージを抱かせています。しかし、近年の事象からこうした信長への固定されたイメージが、何ら根拠のないものであることがわかってきました。信長といえば「泣かぬなら殺してしまえホトトギス」の句で有名です。この句のように信長は短気ではげしい気性なののでしょうか。実は、信長は「我慢強い、努力家だった」とも言われています。農民から太政大臣になった日本一のスーパーヒーロー・豊臣秀吉はどうでしょうか。秀吉と言えば、ボロボロの着物をまとった貧乏百姓と思われていますが、実はそれほど貧乏ではなかった、それよりも裕福な百姓だったの

では、とさえ言われています。後世の太閤記などが、ただの農民ではなく「貧乏」農民から天下人まで成り上がったと誇張したようです。そして、長く続いた戦乱の世を治め、その後265年続く江戸時代の礎を築いた徳川家康。家康と言えば、たぬきのようにメタボ腹を抱えた中年のおじさんで、腹黒くてずる賢い人＝「たぬき親父」と呼ばれています。棚ぼたで天下人になれた。ラッキーだった。などと言われたりもしています。家康は幼少から織田家や今川家で人質とされ、政治の道具として扱われていたことから、常に周りの実力者に恐れ、慎重な性格になっていました。その慎重さ、ずる賢さがあったがゆえに、最後に天下人として、日本を治められた本当のヒーローなのです。

江戸時代は、世界的に見ても類い稀な内戦のない平和な世の中が265年も続きました。この間、日本固有の文化・芸能が数多く生み出され、大都市・東京が形成され、近代日本への橋渡しとなりました。

信長が上洛し府内を治め、秀吉が天下を統一し、家康が幕府をつくり、平和な日本が形成されました。この戦国の三英傑が一人でも欠けていたら、今の日本はなかったかもしれないのです。



来年の大河、楽しみです

瓜生和徳の「戦国三英傑」総集編を聴講して好評裡に終了した品川区主催の2021年度区民プロデュース型講座「瓜生和徳の『戦国三英傑』」でした。しかし残念ながら抽選に漏れ受講できなかった方達のためにと、品川シルバー大学同窓会が、瓜生和徳講師にお願いし、今回、総集編として企画していただき聴講す

ることができました。

戦国時代でも人気のある織田信長、豊臣秀吉、徳川家康の三英傑のイメージは、多くの場合、時代劇やテレビ、歌舞伎の舞台などにより形づけられ、通説となっている気が致します。しかし昨今、歴史上の新しい史料の発見等も多く、新聞紙上やテレビ番組でも紹介されており、学校で習ってきた歴史の教科書の内容も逐次書き改められています。

今回の講座では、瓜生和徳講師がこれらの最新の史料に基づき、三英傑の次にあげる代表的な通説を主題にして、その虚像と実像、家臣との関係等にせまりました。独自の分かり易い資料（家系図、年表、家紋、健康状態等）も提供され大変分かり易かったです。

- 1、織田信長：「少年時代の大うつけ説は本当か」、「冷酷・無慈悲な性格は本当か」、「楽市楽座は信長が最初か」、「天下布武の真の意味は」、「正親天皇と敵対していたのか」、「比叡山焼き討ちの真相」
- 2、豊臣秀吉：「本当に貧乏な百姓だったか」、「墨俣城築城は本当に一夜で造営したか」、「刀狩の刀で大仏建立をしたのか」、「巧みな人心掌握術は多重人格者?」、「茶々だけがなぜ二人の子を産めた?」、「朝鮮出兵がなぜ愚挙と言われないのか」
- 3、徳川家康：「人質にされた今川義元を恨んでいない」、「嫡男信康と正室築山殿の処刑事件の真相」、「実は短気で秀忠や重臣達を叱っていた」、「信長より新しモノ好き」、「野心家ではなかった」、「鎖国は考えていなかった」

川柳雑詠

久々に	あの笑顔	正月は	黒ダイヤ
暖簾くぐりて	九九歳で	幾つになっても	と囃したのに
串かじる	星になる	良いもんだ	今はもう
きくえ	きくえ	のぼる	のぼる

今回の聴講を通して、通説を楽しむことのみならず、できるだけ史実を知る大切さ、楽しさを学びました。若い頃には暮に南座や歌舞伎座で『仮名手本忠臣蔵』を観て楽しんでいました。しかしこれも「赤穂事件」をもとに創作された話で、敵討でもなく単なる夜襲、史実とは異なります。裏に蠢く力学も垣間見えます。現代にも通じる「歴史書は勝者が作る」の言葉が脳裏を掠めます。遅まきながら、これからも歴史を学び楽しみたいと思います。

(加藤榮一 2018年入会)

講演会・見学会のご案内

★A講演会(第4回)

演題 免疫力を高めるために
長生きは唾液で決まる

講師 日本大学歯学部

摂食機能療法学講座

教授植田耕一郎先生

日時 2022年2月25日(金)

講演 14時～16時

受付 13時30分～13時50時

場所 中小企業センター

2階大講習室

募集 50名

※今後のオミクロン株急速拡大の影響により、「中止」になることもあります。

★B見学会(第4回)「バス旅行」

行先 足利学校・鏝阿寺・他

※オミクロン株の猛威による、バス車内三密の恐れが想定され、皆様の安全・安心確保のため、大変残念ですが「中止」とします。

詳細内容・申込み方法

同封のチラシを参照ください。

多数の方のご応募をお待ちしています。

締切日 2022年2月7日(月)

☆今後の行事予定

(詳細は3月会報でご案内)

☆B見学会(2022年度第1回)

日時 5月予定